

「提督……
駆逐艦 島風です。スピードなら誰にも負けません。
速きこと、島風の如し、です。」
「で、コレ。なんですか?」

ズン

ズン

「係船索(ロープ)だ」



「それくらい、
しつてまーすー!」

「島風、いつも掃除逃げるから
係留だ!」

「お前速いから、これぐらい
縛つとかないとな。」

「やっぱり、そうよね!
だって速いもん♥」



「げっこう溜まっつてんだよゴミ(精液)が、
きれいにしてくれよ島風♡」

ズ
ツ
ズ
ホッ

ちゅっ♡

「んんッ!
そんなに、グイグイ……
やーめーへ(て)ーよー!」



「ほら、もっと砲塔を舐め回してくれよ島風♡
自慢の速さだよ……」

ピチャピチャ
ブルブル……

「はあ……はあ……
もっと、もっと
速くなってもいいの？」

「オオツ、いいぞ
速くなってくれた方が……
出る……」



「お、オーツツ…
いいぞ島風ツ♡速いぞツ…」

ぢゅっ♡
ぢゅっ♡
ぢゅっ♡

のっ♡
のっ♡
のっ♡

「おんツツ!
んーツツ、んツツ…
うプツツ!」



「んっ♡」

グ
レ
ッ
ッ
♡
エ
ッ
♡

エ
ッ
♡
エ
ッ
♡

「オブツッ！
んふーッ、んー
ブツッ！」

「俺の主砲、掃除完了！」

「口の中に出しちゃうなんて
ひーどーいー！」



「次は俺が、島風の掃除：
いや整備してやるよ♡」

「ひやっ！」

「あいかわらず、
エロいパンツはいてんなあー
いかにもチンポハメテ
下さいってパンツだな！」



「やあーめーてーよおー！」

「ああんツアー♡！」

はあー
はあー

「何が・・・やめてよだよ！
お前のタービン（マンコ）もう
グチヨグチヨじやねえかよツ！」

ちゃぽ♡

ちゃぽ♡



「実は、寝てる間にパイパンに改造してやったぞ♡
友達の天津風は巨乳に改造してなかなか良かったが：へへ：
島風(改)はどうかかな？」

「ひやっ！」

「おら、ターピン周りの整備してやるからケツこっち向ける！」

グ
ン

「潤滑油たっぷりですんなり入っていくぜ…島風」

ズ
ズ
ズ

「あータービンに棒があー！」

「あツ♡奥まで…！」



「いいぞ…島風
パイパンにして正解だったぜ
チンポが前より深く
刺さって気持ちいいぞッ！」



「パイパンで
マンコ丸見えだぜ…島風
しかし、お前のYバックパンツは
エロいな♡」

「いやっ!」

「あ、あなたって遅いのね!」

「挑発してんのかW」

“ズルウ〜”



「じゃあ、自分で動け島風！
自慢の速さで尻を俺のチンポに
打ちつけるッ！」

「あーッ！提督勝負ですかッ？
負けませんよッ！」





「もつと…
もつと速くなつてもいらの?!」

「く…しツ島風
全速ツ！」

「これ以上速くなつても知らないからツツ！」

ハアツ♡

ハッ

ハッ♡

ハッ

「全弾発射ッッ

ビュッ

「ひやあーッッ

♡! ヲク

♡! ヲク

ッッ
レ
ッ
ッ
!

!

レ
ッ
ッ

レ
ッ
ッ

ト
ク
ン

ト
ク
ッ



「次発装填、再突入準備開始ッ！」

「なんですかあー提督?!
もう一回戦ですか……」

私ッ

私ッ

私ッ

はあ……

は……

はあ



「あツ♡あんツッ！
う。。負けませんからツ」

「霧中に
敵、発見ッ！」

ガッ
ッ
ッ

ズッ
ズ
ズ



「敵艦に向け全弾発射ーッ！」

「アッ！
ひああああーッ！」



「島風(改)タービンの整備終了、
主砲試射完了！
艦隊帰投！」

「はう……この私が犯られるなんて……」